



IXIL ラシッサUD 引込み戸(Wソフトモーション) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・ 枠を固定する下地材はまぐさ、柱などの硬木としてください。
 - ・ 躯体が軽量鉄骨(ランナー・スタッド)の場合は躯体固定ねじが効かないため、開口補強材もしくは木枠(厚み45mm以上)をまわしてください。
 - ・ 下地材が開口補強材の場合、ドリルねじ(NC140以下は枠同梱)を使用して枠を固定してください。
 - ・ 吊車はレバーが下がりきるまで押し込んでください。
 - ・ ねじは指定の物を指定本数使用して固定してください。

■取付け上のお願い

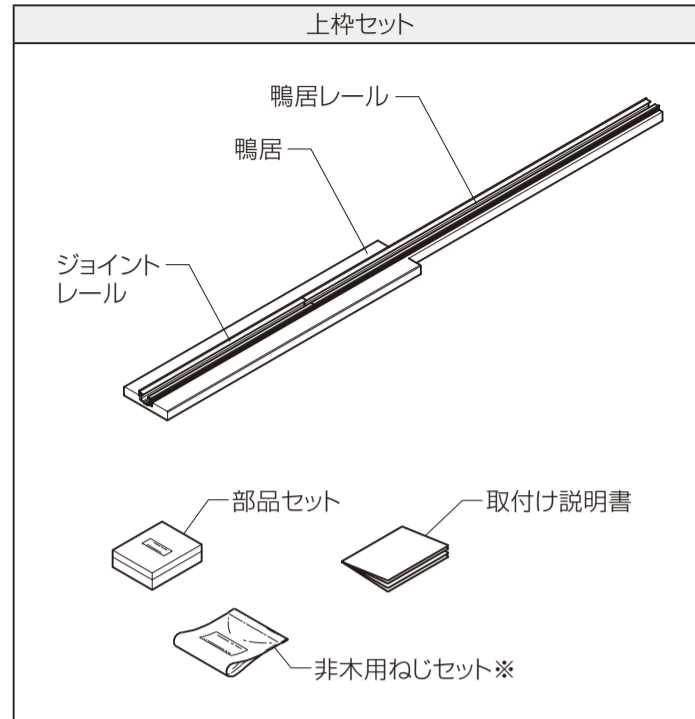
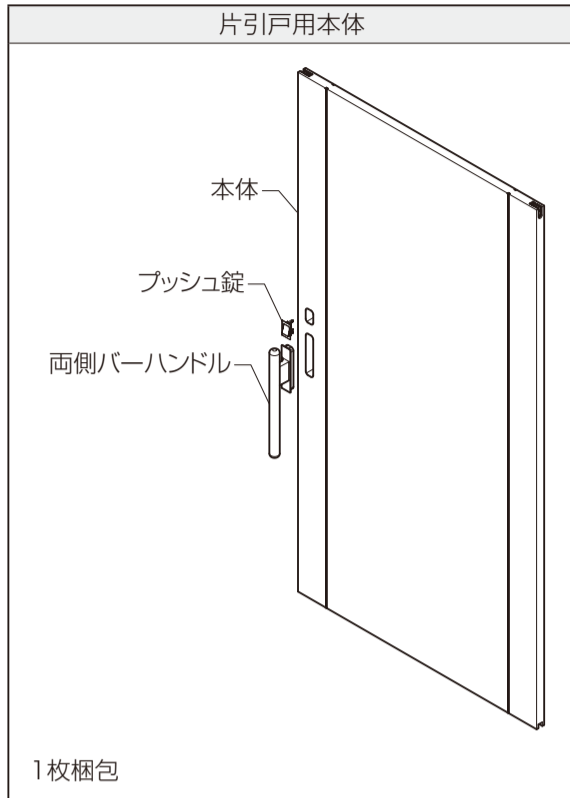
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。また、水・直射日光のあたる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けする場合は、建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵が上レールや吊車に付着し、作動不良の原因になります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ずガイドピンの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。
- 別梱のバーハンドルセット内に同梱されている「戸当たり」「戸当たり受け」は本製品には不要ですので、取付けしないでください。
- 製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

■本体保管上のお願い

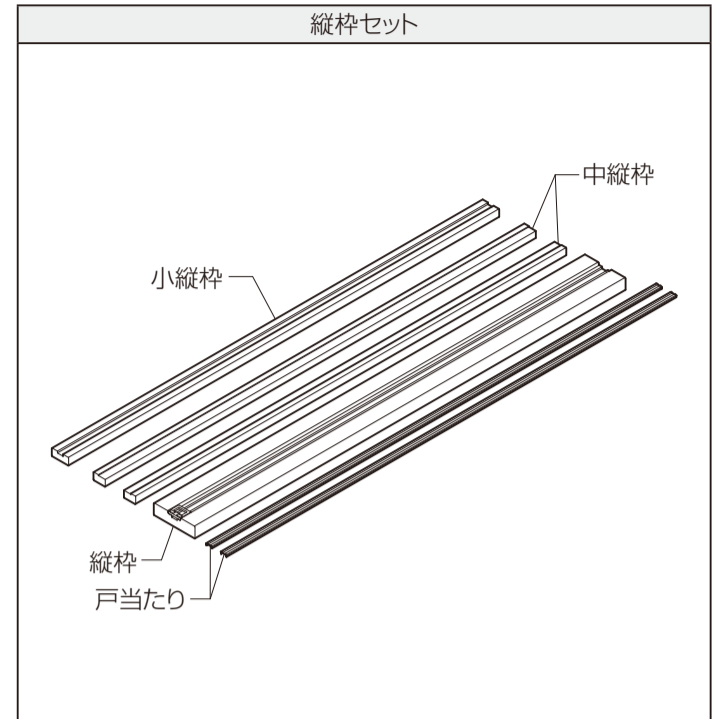
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所・昼夜などで温度差の激しい場所・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はロックダウン、本体は完成品です。



※非木用ねじセットはNC140のみ同梱



■本体

名称	入数
引込み戸本体	1枚

■縦枠セット

名称	入数
縦枠	1
中縦枠	2
小縦枠	1
戸当たり	2

■上枠セット

名称	入数
鴨居	1
上レール	1
ジョイントレール	1
部品セット	1
取付け説明書	1
非木用ねじセット ※NC140のみ同梱	1

■部品セット明細

名称	入数
枠組立用皿小ねじM4×60	6
鴨居取付け用トラスタップねじ1種φ4×50	10
縦枠取付け用DNビス皿木ねじφ3.8×50	6
固定ガイドピン	1
ガイドピン固定用皿タップねじ1種φ3.5×20	2
吊車A (ソフトモーション付)	1
吊車B	1
ソフトモーション受け金具	2
ソフトモーション受け金具取付け用低頭2条ねじφ4×50	4
カールプラグ	2

■非木用ねじセット ※NC140のみ同梱

名称	入数
鴨居取付け用トラスドリルねじφ4×35	10
ソフトモーション受け金具取付け用低頭ドリルねじφ4×35	4
縦枠取付け用なべドリルねじφ4×50	15

■両側バーハンドルセット(別売り)

名称	入数
バーハンドル・オス	4
バーハンドル・メス	2
皿小ねじM5×30	2
取付け説明書	1
★戸当たり	1
★戸当たり受け	1
★戸当たり固定ねじ	1

※★の部品は本製品では使用しません。

■中縦枠ガイドピンセット(別売り)

名称	入数
中縦枠ガイドピン	1
皿タップねじφ4×20	2
取付け説明書	1

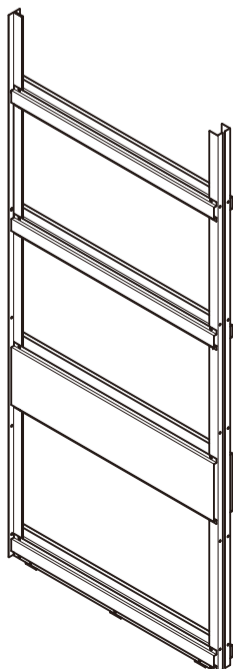
■プッシュ錠セット(別売り)

名称	入数
プッシュ錠本体	1
錠座カバー ※シリンダー錠のみ	1
皿タップねじφ3.5×16 ※シリンダー錠のみ	2
カギ ※シリンダー錠のみ	3
取付け説明書	1

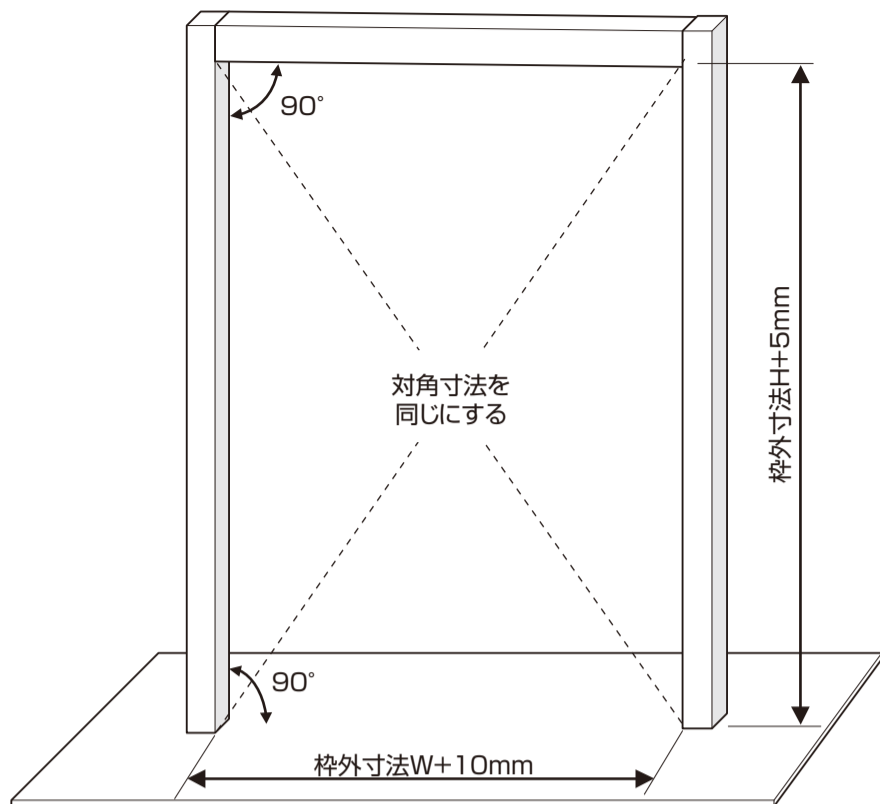
■スチール戸袋ユニットを使用する場合

枠の組立てと同時に必要です。

スチール戸袋ユニット同梱の取付け説明書も合わせて確認してください。



開口部の作り方



▲ 注意

- 本体脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・ 枠を固定するまぐさ、柱などの下地材は硬木としてください。
 - ・ 躯体が軽量鉄骨(ランナー・スタッド)の場合は躯体固定ねじが効かないため、開口補強材もしくは木枠(厚み45mm以上)をまわしてください。

● 施工上のお願い

- ※ 柱、床、まぐさの水平、垂直を出してください。
- ※ 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けてください。
- ※ 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- ※ 建具枠の下地材には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください
- ※ 本体重量は1枚あたり最大40kgとなります。必ず構造計算の上、梁(まぐさ)に強度を持たせてください。
強度が不足している場合、枠の垂れ下がり・ガタツキの原因になります。
- ※ クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ず本体ストッパーの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。

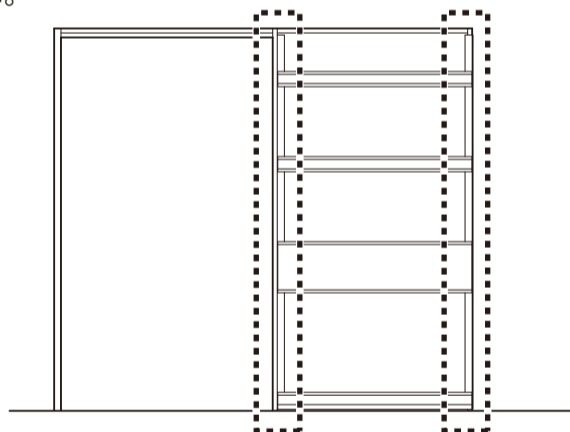
● 取付け範囲

ノンケーシング	見込み	対応壁厚	(単位: mm)
	NC140	101~115	
	NC156	116~130	
	NC171	131~145	
	NC180	146~160	

● スチール戸袋ユニット アングルの取付け (スチール戸袋ユニット使用の場合のみ)

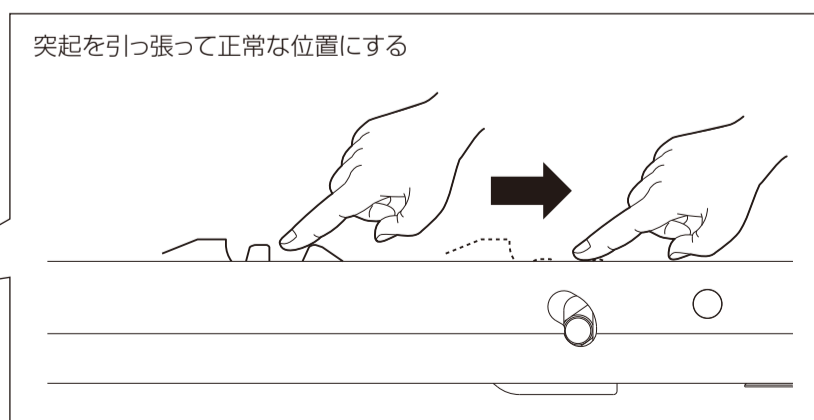
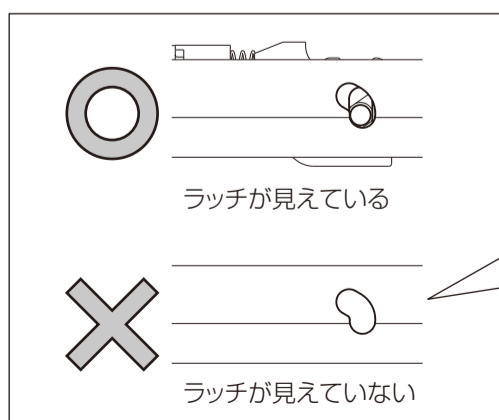
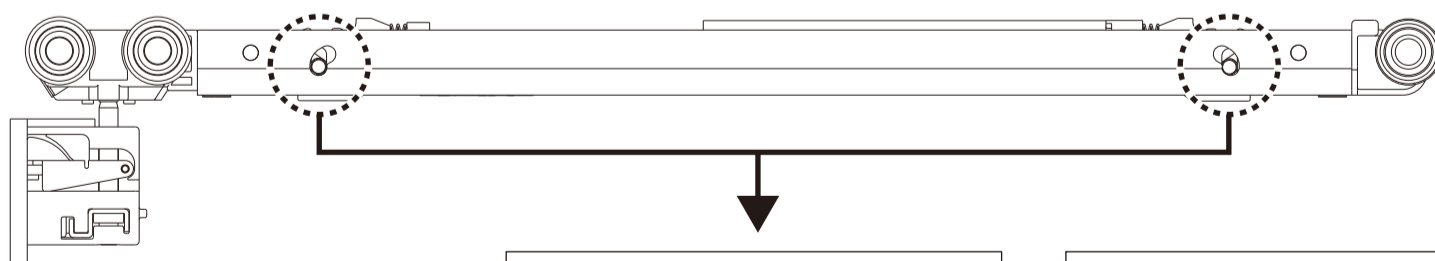
枠組み立て前に準備が必要です。

スチール戸袋ユニット同梱の取付け説明書参照して中縦枠・小縦枠にアングルを取り付けてください。



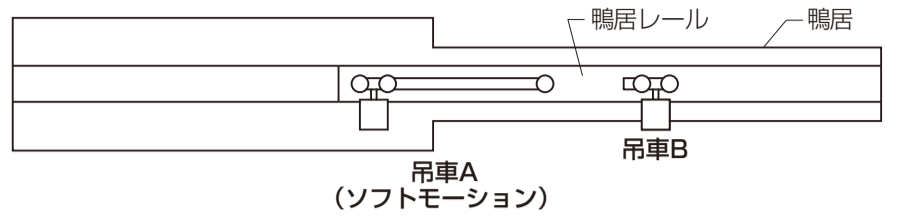
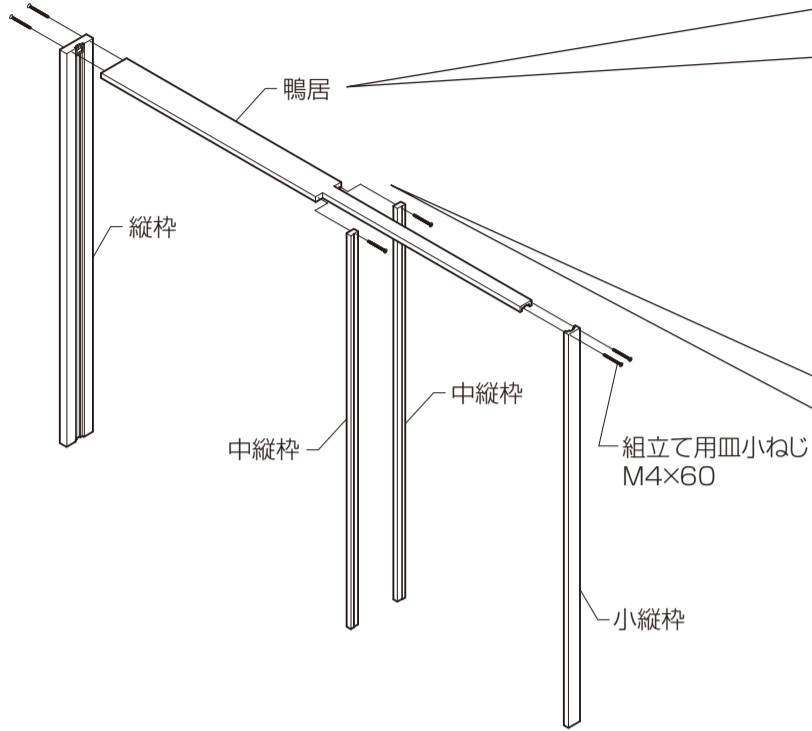
取付け順序

取付け前に、必ず吊車(ソフトモーション付)の状態を確認してください。

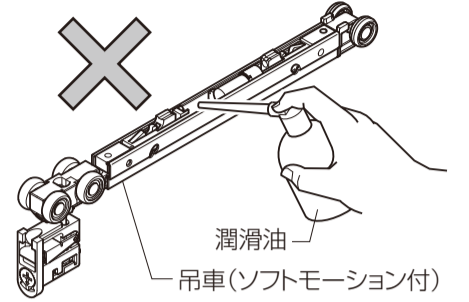


1 部品の取付けと枠の組立て

- ①鴨居に吊車を挿入してください。
- ②鴨居と縦枠を皿小ねじφ4×60で組み立ててください。
- ③NC156、171は組立て後中縦枠の組立て部に穴埋めシールを貼り付けてください。

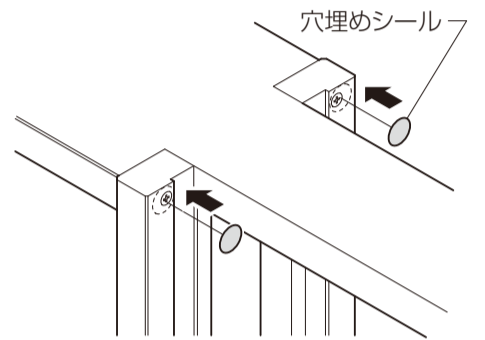


お願い
 ※吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。動作不良の原因になります。



●NC156、171の場合

組立て後、中縦枠の組立て部に穴埋めシールを貼り付けてください。

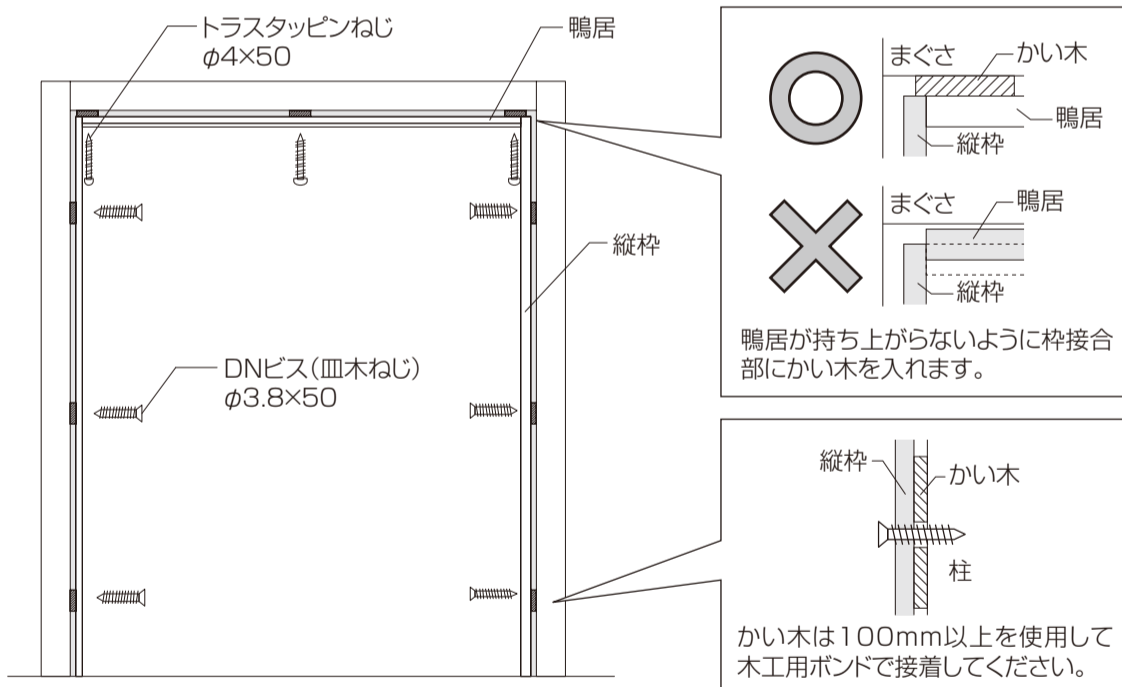


施工上のお願い

- ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。ただし、たたきこまないようにしてください。保持力低下の原因となります。
- ※各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- ※枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。

2 枠の取付け

- 同梱のねじで枠を躯体に固定してください。

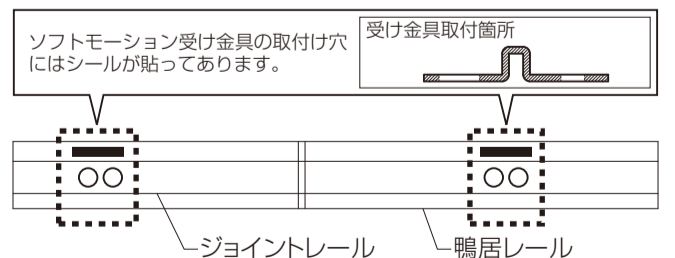


▲ 注意

- 下地材が開口補強材の場合は、ドリルねじ(NC140以下は枠同梱)を使用して枠を固定してください。

施工上のお願い

- ※組立後の移動は必ず2名以上で行ってください。
- ※建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- ※かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- ※現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ※鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- ※ソフトモーション受け金具の取付け穴に鴨居取付けねじで固定しないでください。



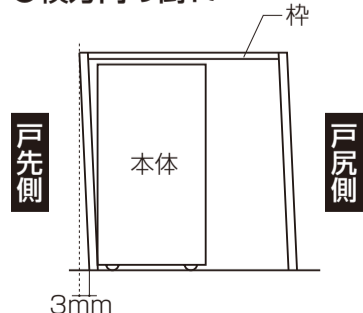
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mm以内になるように取付けてください。

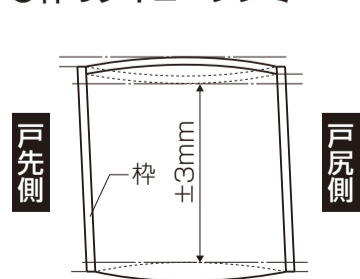
以下の原因となります。

- ・引戸が吊込めない
- ・ソフトモーション機構の作動不良

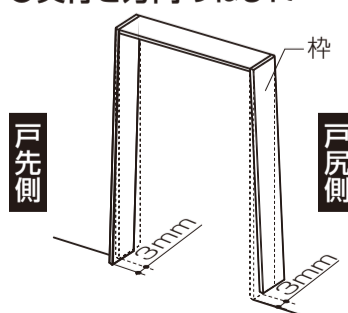
●横方向の倒れ



●枠のタイコ・ツツミ



●奥行き方向のねじれ

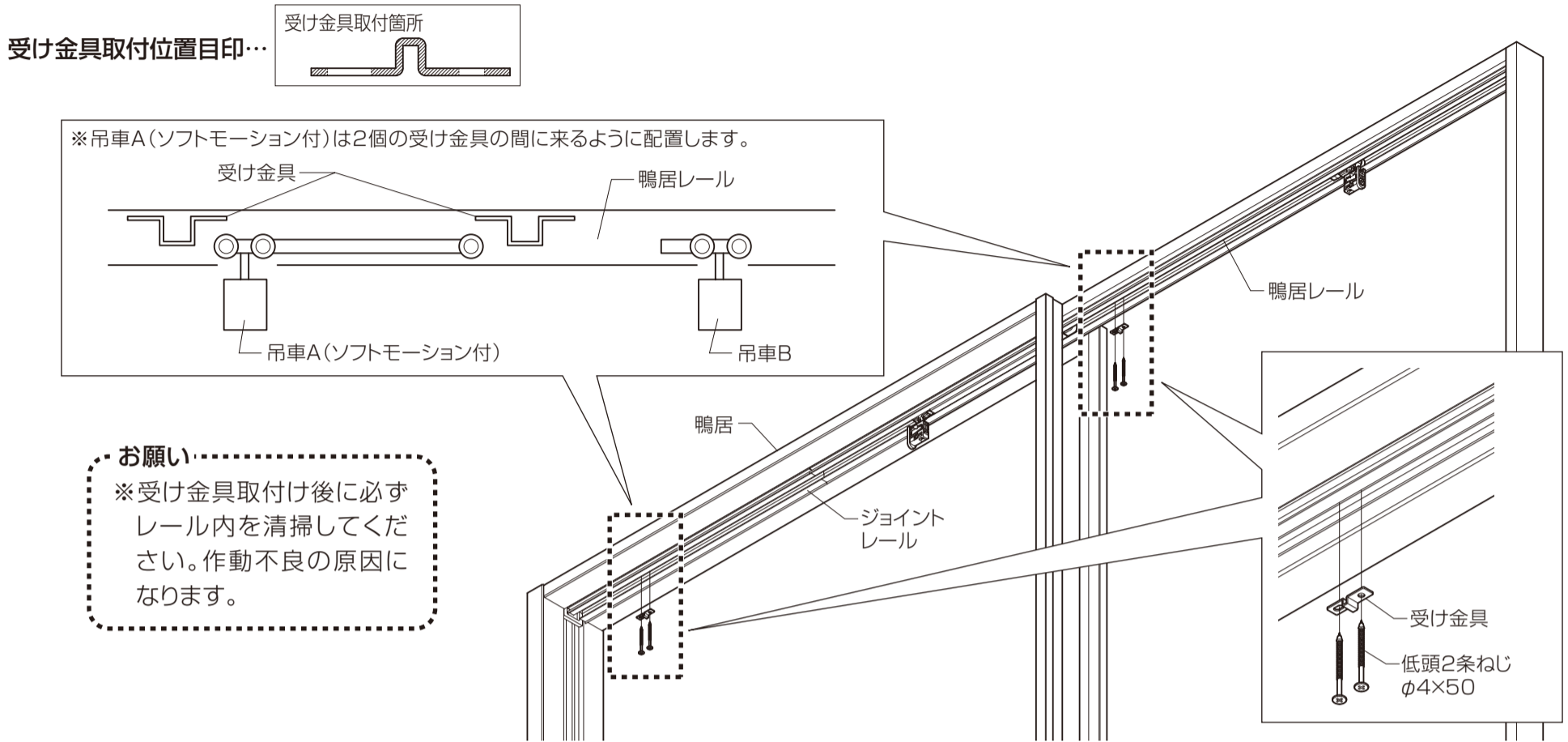


3 受け金具の取付け

●受け金具を低頭2条ねじφ4×50で取付けます。

▲ 注意

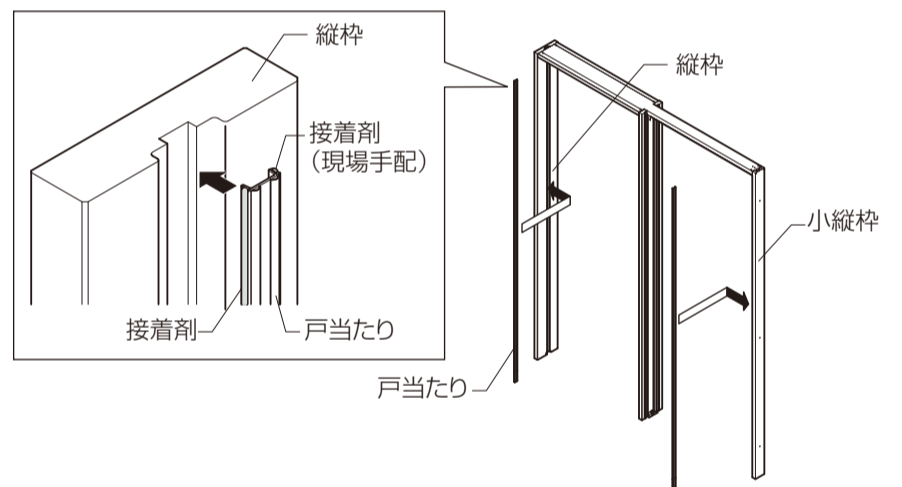
●下地材が開口補強材の場合は、ドリルねじ(NC140以下は枠同梱)を使用して枠を固定してください。



4 戸当たりの取付け

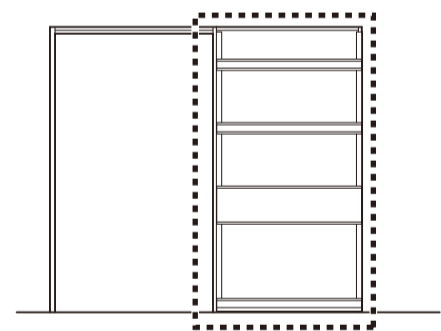
- ①戸当たりを現場の寸法に合わせて切断してください。
- ②戸当たりには接着剤(現場手配)をつけて縦枠に取付けてください。

お願い
※現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。



5 スチール戸袋ユニット 横パネル・ブラケットの取付け (スチール戸袋ユニット使用の場合のみ)

スチール戸袋ユニット同梱の取付け説明書2以降参照してスチール戸袋ユニットを完成させてください。



6 ガイドピンの取付け

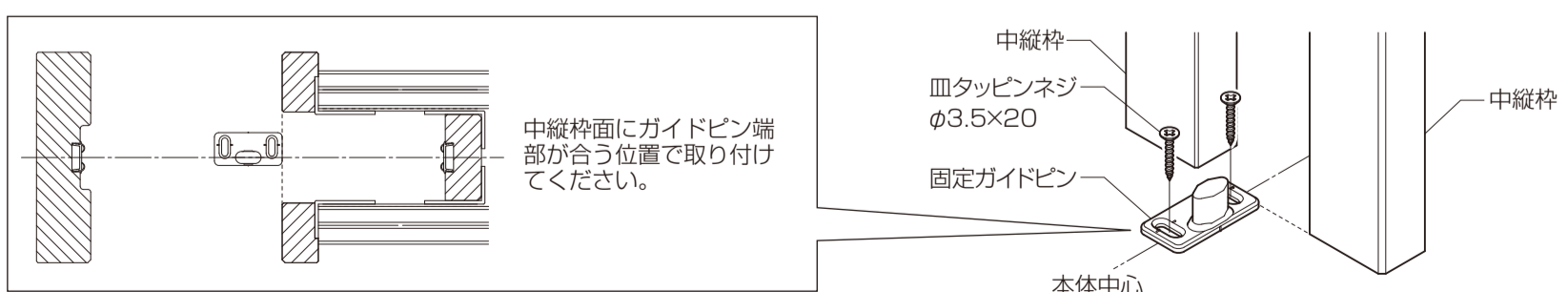
●固定ガイドピンの場合

固定ガイドピンを皿タッピンねじφ3.5×20で床材に固定します。
※本体の開閉操作に影響が出ますので、図にしたがって取付けてください。

●中縦枠取付ガイドピンの場合

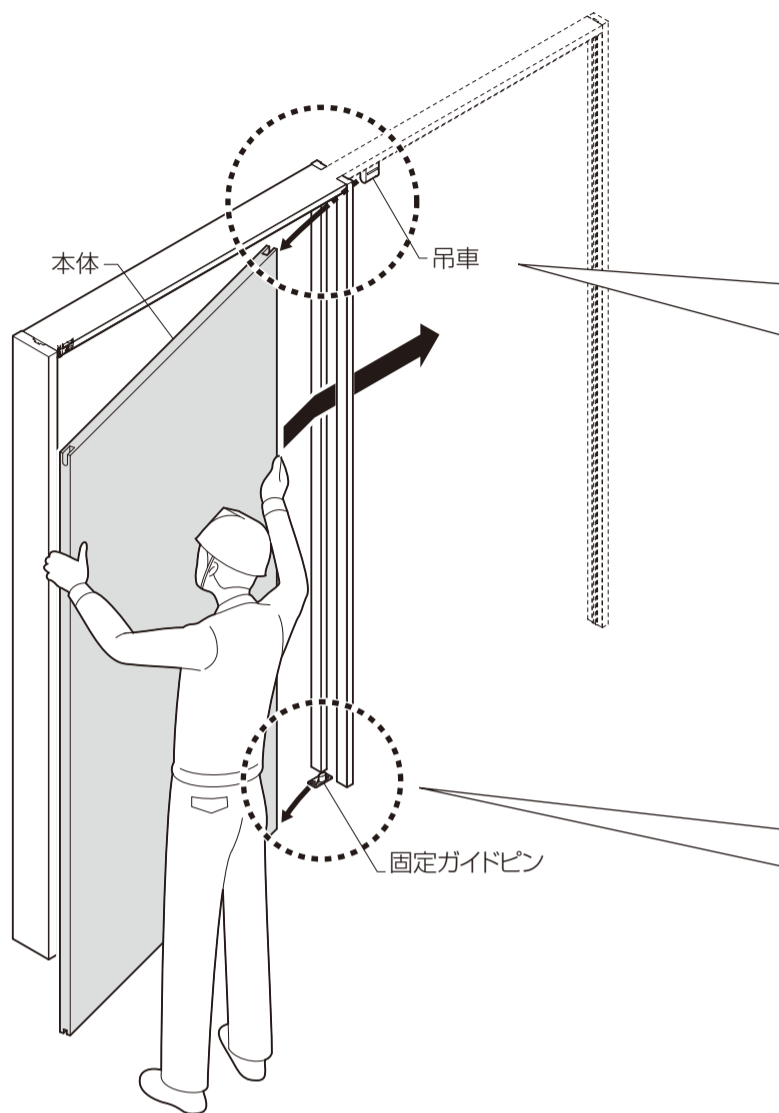
部品に同梱の取付け説明書をご覧ください。

お願い
※コンクリート下地に取付ける場合は、同梱のコンクリートプラグを使用してください。(下穴φ6×25以上)

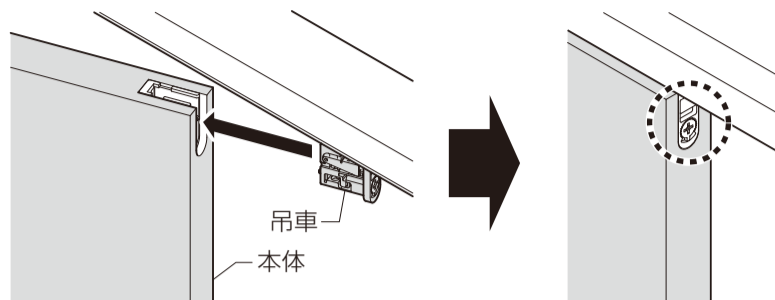


7 本体の吊込み

- ①吊車Bと本体を下図の向きにして本体に取付けてください。
 吊車は本体に水平に押込むとワンタッチで取付けられます。
 ※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込んでください。

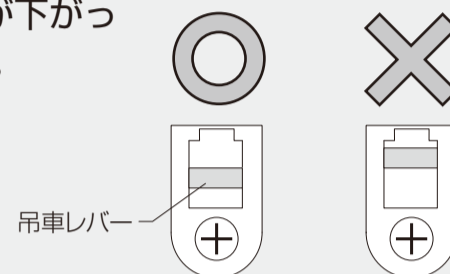


吊車Bを本体に取付けます。

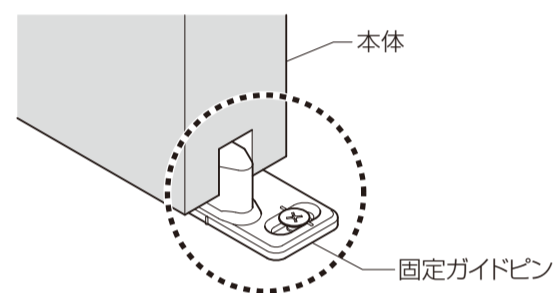


▲ 注意

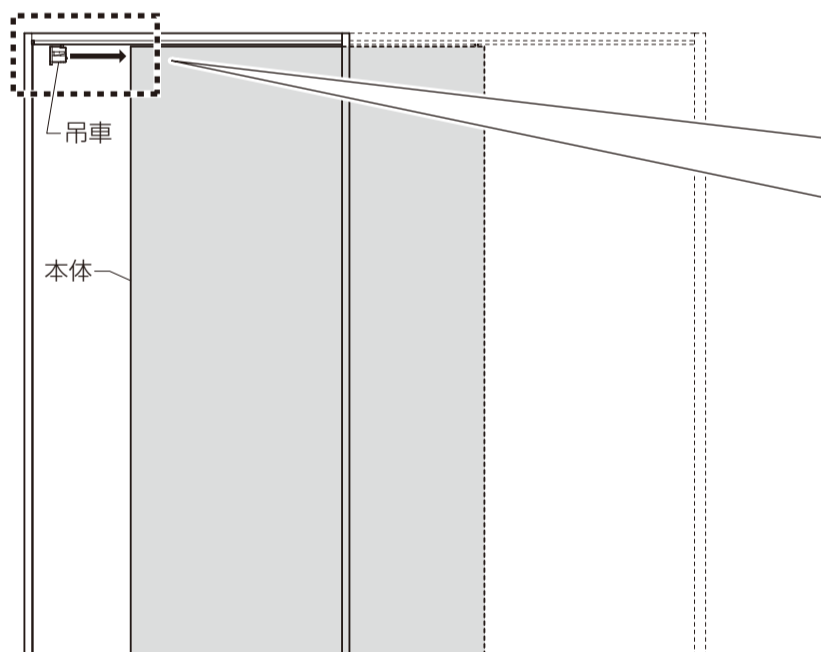
- 取付けた後に、必ず吊車レバーが下がっていることを確認してください。本体脱落の原因となります



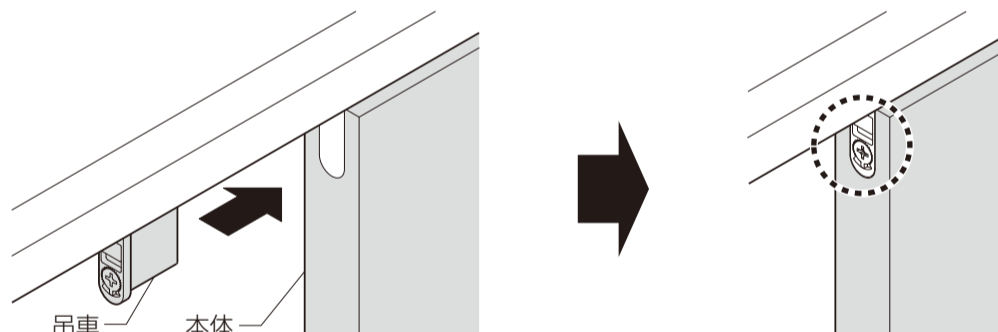
- ②本体を回転させながら本体下部の溝にガイドピンを入れ、そのまま小縦枠側に押し込んでください。



- ③吊車Aを本体に取付けてください。吊車は本体に水平に押込むとワンタッチで取付けられます。
 ※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込んでください。



吊車Aを本体に取付けます。



8 錠の取付け

錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

9 本体の調整

手回しドライバー使用

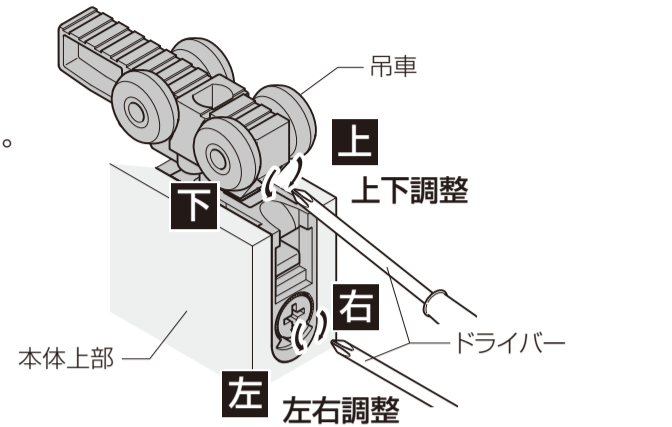
■本体の上下・左右調整

上下調整(調整幅上4mm、下1mm)

プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

左右調整(調整幅左右各2mm)

プラスドライバーで、吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

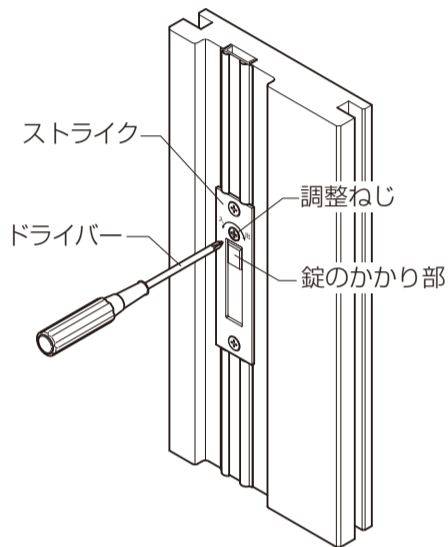


■引戸錠のかかり調整

ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。

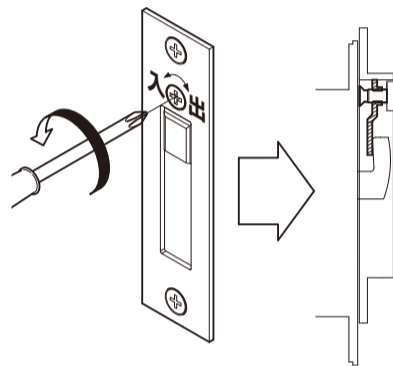
※美和ロックFG3D錠のストライクには、錠のかかり調整機能は付いていません。

調整が必要な場合は本体の上下・左右調整で対応してください。



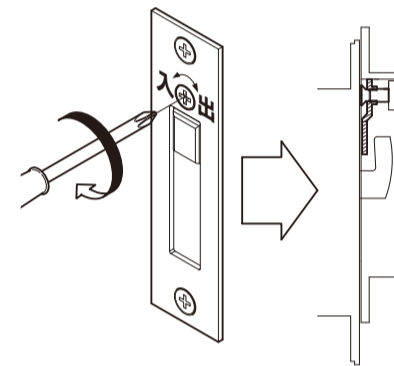
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを左に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



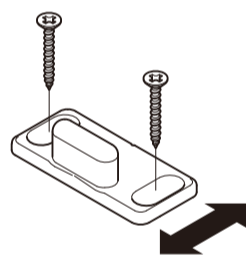
■ガイドピン位置の調整

●固定ガイドピンの場合

ねじをゆるめて前後に調整して固定してください。

●中縦枠取付けガイドピンの場合

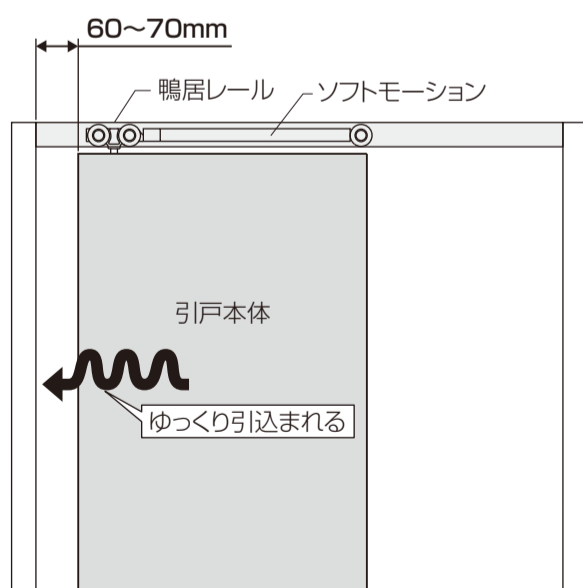
部品と同梱の取付け説明書をご覧ください。



■ソフトモーションの動作確認

本体をゆっくり開閉し、全閉または全開状態からおよそ60~70mm手前の位置から本体がゆっくり引き込まれるか確認してください。

※下図は本体を閉める場合を示します。本体を開ける場合も同様に確認してください。



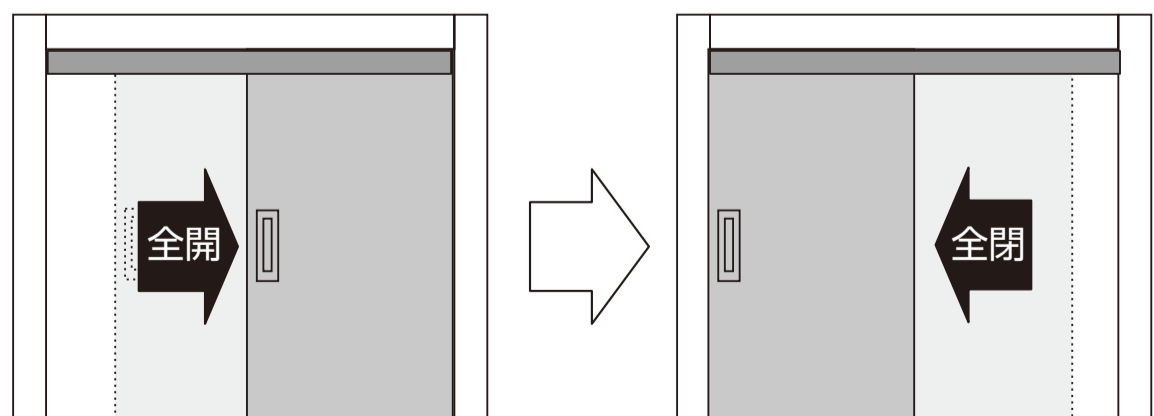
■ソフトモーション機構の自動復帰方法

※本体を吊り込んでソフトモーション機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトモーション機構が自動復帰します。

- ①本体を全開してください。
- ②本体を全閉してください。
- ③①、②を1~2回繰り返してください。ソフトモーション機構が復帰します。

※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。ソフトモーション機構復帰時に「カチッ」と手応えを感じます。

※ソフトモーション機構復帰後は本体を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。



■異常時の対処方法

No.	現象	チェックポイント	対処方法
1	本体が閉まりきらない	枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている <参照> 取付け順序/ ②枠の取付け手順『取付け精度の許容範囲』	本体を外し、許容範囲となるよう再施工してください。 ● 本体の外し方 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。 次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。 ※取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押し上げながら引抜いてください。
2	鍵がかからない/ かかりが甘い (本体と縦枠にすき間が開く)	本体が傾いている	本体の位置を調整してください。 <参照> 本体の調整/本体の上下・左右調整
		ストライク調整が不適當	ストライクを調整してください。 <参照> 本体の調整/引戸錠のかかり調整
3	本体の開閉が重い	ガイドピンと本体がこすれている	ガイドピンの位置を調整してください。 <参照> 固定ガイドピン：本体の調整/ガイドピン位置の調整 中縦枠取付けガイドピン：部品に同梱の取付け説明書
4	ソフトモーションが効かない	吊車(ソフトモーション付)のラッチが上がっている	本体の全開・全閉を1~2回くりかえしてください。 <参照> 施工後の確認/ソフトモーションの動作確認

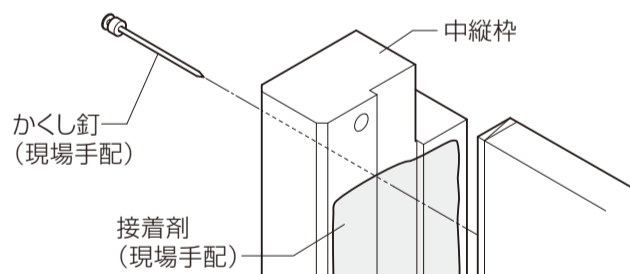
⑩点検口の取付け

点検口同梱の取付説明書をご確認ください。

⑪中縦枠の取付け

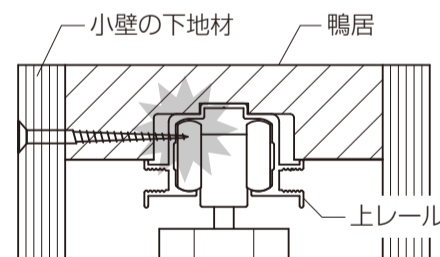
スチール戸袋ユニットを使用する場合は、スチール戸袋ユニット同梱の取付説明書を確認して戸袋を仕上げてください。

- ①戸袋の下地材を施工してください。
- ②中縦枠をかくし釘(現場手配)で下地材に固定してください。
- ③仕上げのボードを取り付けてください。



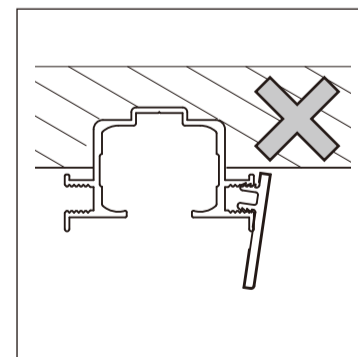
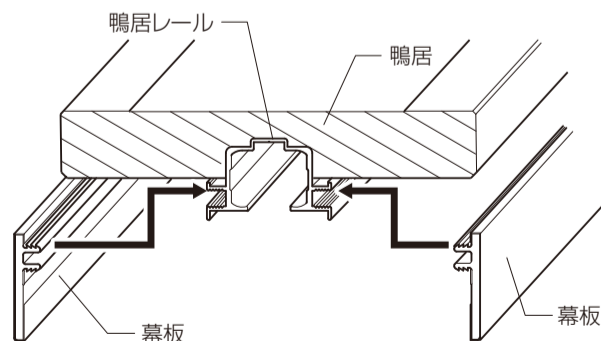
取付け上のごお願い

- ※現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ※小壁の下地材を取付ける際、取付けねじが鴨居と上レールを貫通しないように注意してください。
作動不良の原因となります。



⑫幕板の取付け

鴨居レールに幕板を取付けます。(表裏2箇所)
リケイ紙をはがし縦枠面に位置を合わせて鴨居レールとの間にすき間ができないよう戸先側から←方向にはめていってください。



⑧バーハンドルの取付け

バーハンドルの取付けについては、別梱のバーハンドルセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。
また、バーハンドルに同梱の戸当たりは使用しません。

⑨手すりの取付け

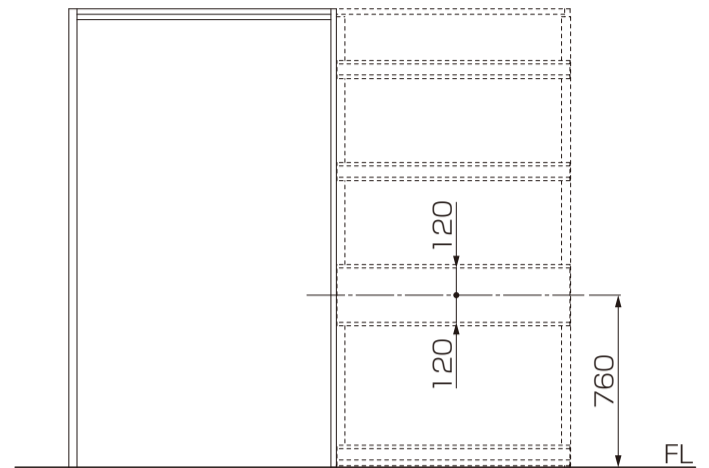
スチール戸袋ユニットを使用する場合は下地にパネルがある位置にのみ取付可能です。
ドリルねじ(現場手配)で手すりを取り付けてください。

お願い

※手すり取り付け用ねじの長さが長すぎると、ねじが戸袋内部で本体に接触しキズをつけるおそれがあります。

【ねじ長さの目安】

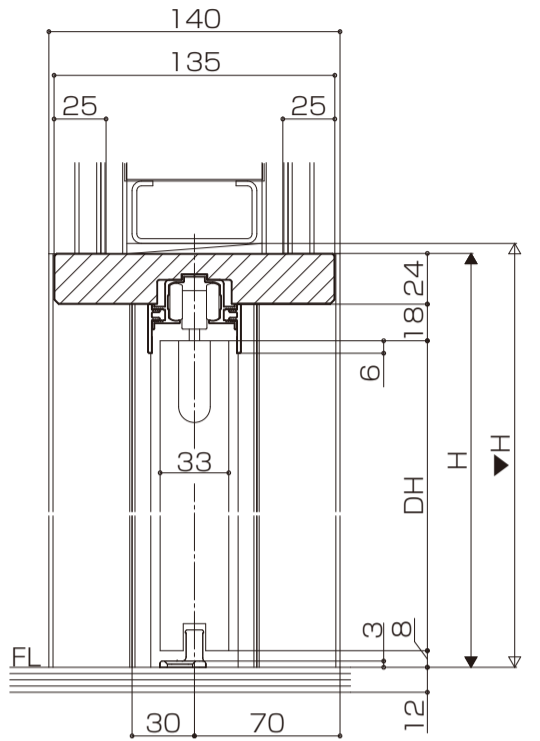
ねじ長さ-石膏ボード厚=14mm以下



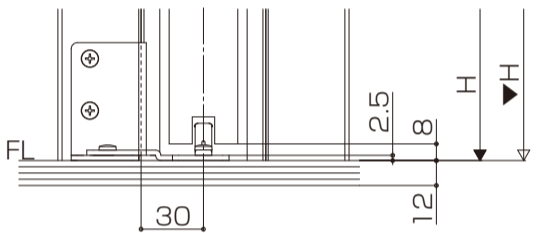
■納まり図

●上吊方式引込み戸 NC140

縦断面図

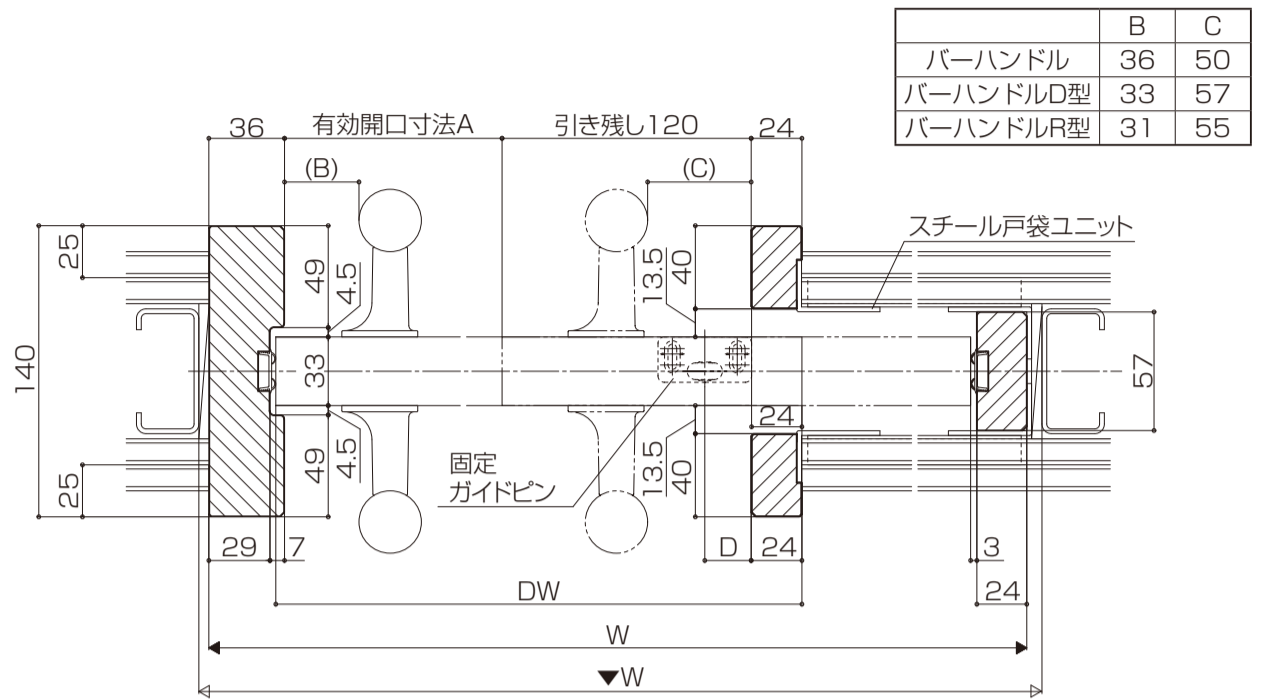


固定ガイドピン



中縦枠取付けガイドピン

横断面図



	B	C
バーハンドル	36	50
バーハンドルD型	33	57
バーハンドルR型	31	55

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A
W20 (2011)	900
W22 (2211)	1000
W26 (2611)	1200

算出式: $A \text{寸法} = (W - 211) / 2$
 $DW = (W + 85) / 2$

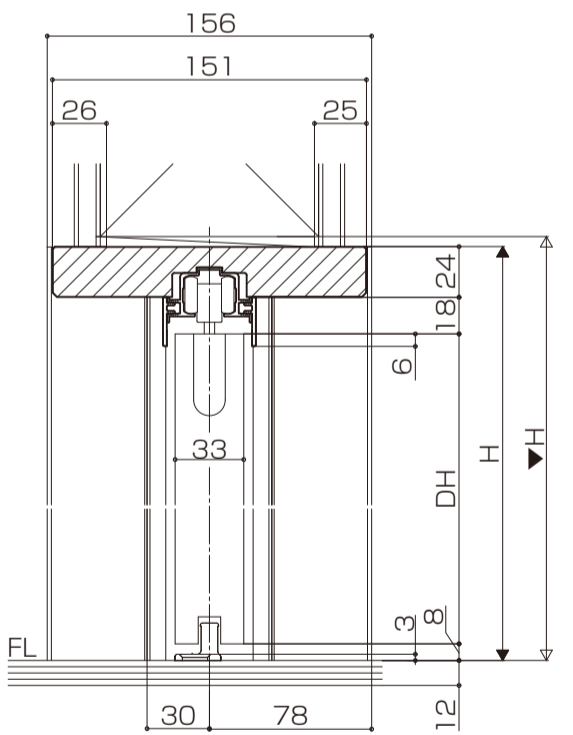
※この図は両側バーハンドルの例です。
 ※この図は固定ガイドピンの例です。
 ※この図はスチール戸袋ユニットを使用した例です。

ガイドピン位置

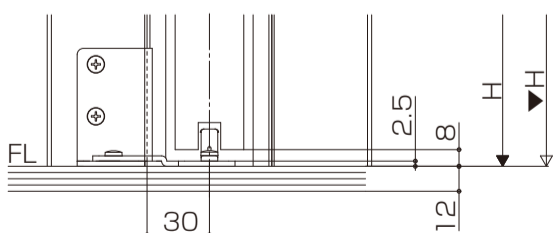
ガイドピン種類	D
固定ガイドピン	22.5
中縦枠取付けガイドピン	10.5

●上吊方式引込み戸 NC156

縦断面図

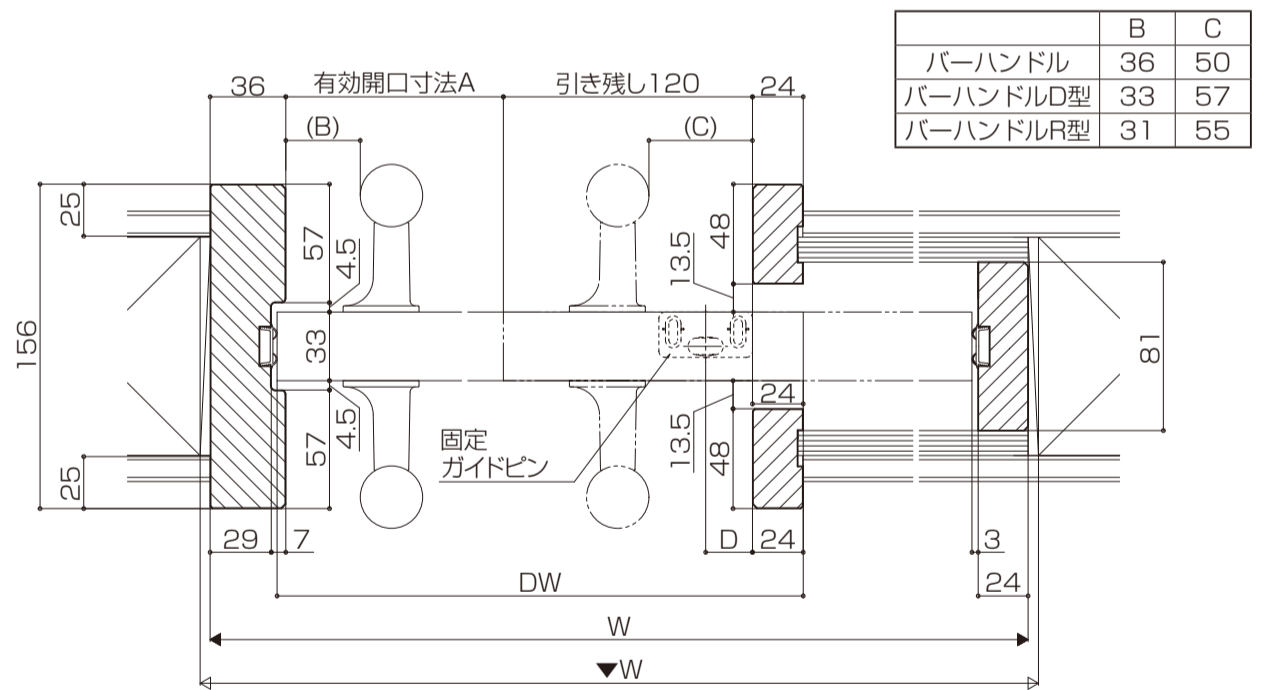


固定ガイドピン



中縦枠取付けガイドピン

横断面図



	B	C
バーハンドル	36	50
バーハンドルD型	33	57
バーハンドルR型	31	55

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A
W20 (2011)	900
W22 (2211)	1000
W26 (2611)	1200

算出式: $A \text{寸法} = (W - 211) / 2$
 $DW = (W + 85) / 2$

※この図は両側バーハンドルの例です。
 ※この図は固定ガイドピンの例です。

ガイドピン位置

ガイドピン種類	D
固定ガイドピン	22.5
中縦枠取付けガイドピン	10.5